



平成30年3月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年5月11日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は758.4億円、前年同月比4.8%増、2か月ぶりのプラス

映像機器、銅及び同合金、事務用機器などが増加

船舶類、有機化合物などが減少

輸入額は995.6億円、前年同月比11.0%増、2か月連続のプラス

原油及び粗油、銅鉱、液化天然ガスなどが増加

鉄鉱石、揮発油などが減少

主要品目

(単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	5,244	55.7	↓	鉄鉱石	9,989	56.0	↓
鉄鋼	16,139	91.3	↓	銅鉱	26,050	124.7	↑
銅及び同合金	13,617	122.6	↑	石炭	17,177	100.7	↑
事務用機器	11,019	103.3	↑	原油及び粗油	25,971	299.5	↑
映像機器	12,498	383.7	↑	揮発油	-	全減	↓
船舶類	9,326	65.7	↓	液化天然ガス	11,256	110.5	↑

港（通関官署）別の状況（詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照）

大 分）輸出は718.6億円、前年同月比25.3%増。映像機器、船舶類、銅及び同合金などが増加
輸入は978.3億円、前年同月比10.3%増。原油及び粗油、銅鉱、液化天然ガスなどが増加

佐 伯）輸出は1.2億円、前年同月比96.5%減。船舶類が減少
輸入は3.0億円、前年同月比88.2%増。植物性原材料、植物性油かすなどが増加

津久見）輸出は38.6億円、前年同月比66.9%減。船舶類、石灰石が減少
輸入は14.3億円、前年同月比84.1%増。石炭、石油コークスが増加

大分
空港）輸出入実績なし

港 名（通関官署）

(単位：百万円、%)

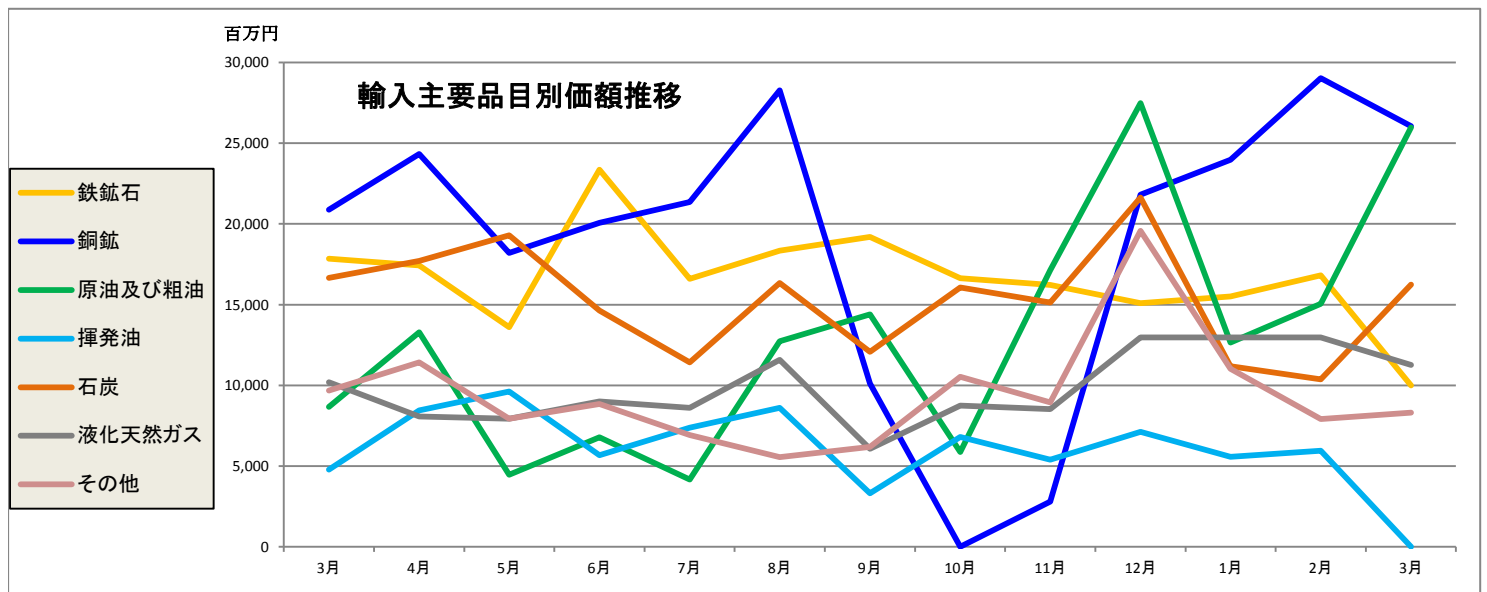
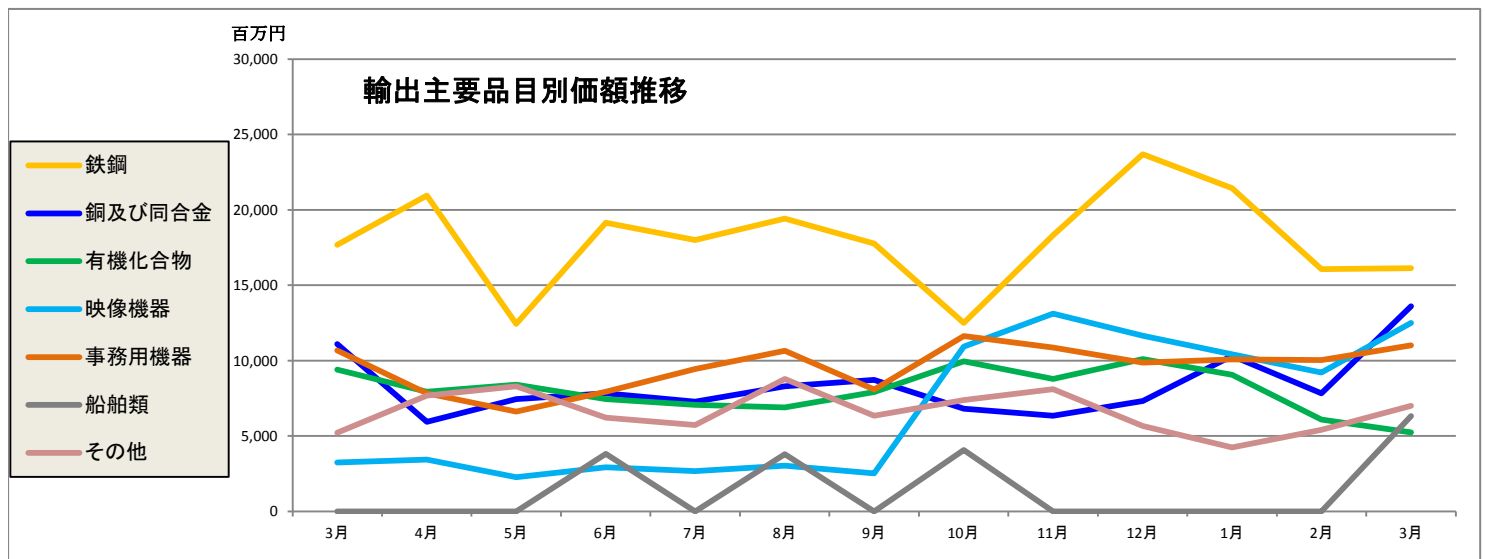
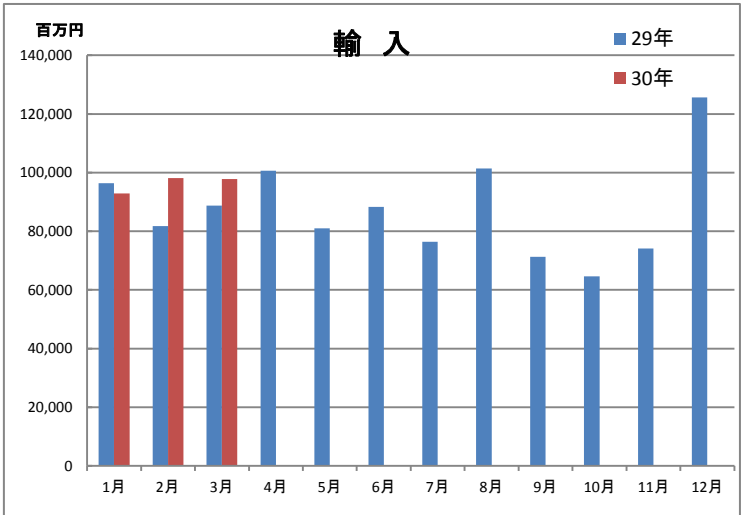
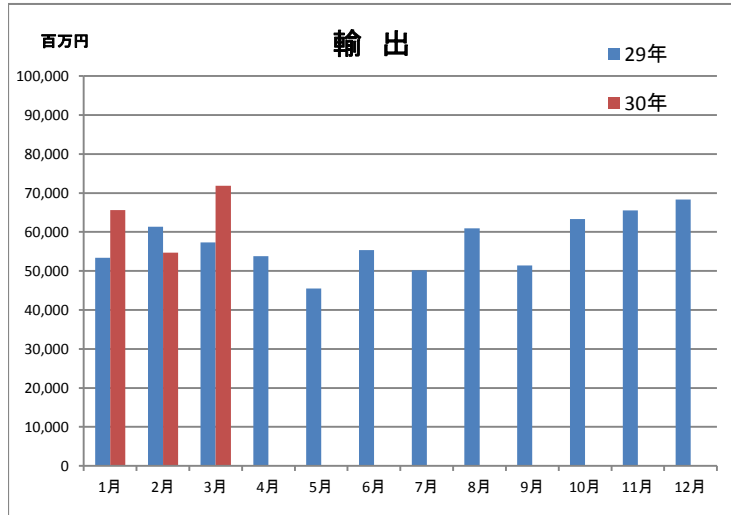
区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同月比			価 額	前年同月比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	71,857	125.3	↑	2か月ぶりのプラス	97,826	110.3	↑	2か月連続のプラス	入超	25,969
佐 伯(佐 伯)	116	3.5	↓	2か月ぶりのマイナス	299	188.2	↑	3か月連続のプラス	入超	182
津久見(津久見)	3,863	33.1	↓	2か月連続のマイナス	1,430	184.1	↑	2か月ぶりのプラス	出超	2,433
大分空港(大分空港)	-	-			-	-			-	-
大 分 県	75,836	104.8	↑	2か月ぶりのプラス	99,555	111.0	↑	2か月連続のプラス	入超	23,719

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>